

♥ あなたも、きらきら基金ワーキンググループ(WG)に参加しませんか ♥

●WGの定義

運営委員会とは別にある組織(運営委員とのメンバー重複可)
 専門家の立場からきらきら基金運営委員会にアドバイスをする
 運営委員会は実動部隊であり、全体のことを考える
 WGは専門的なことを深く掘り下げて検討する
 WGは出入り自由。全部の会議に出られなくても良い

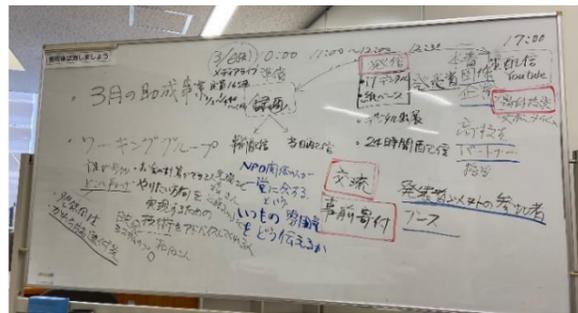


●WGに参加してほしい人材

- ITを使った寄付システムを扱える方
- 映像や画像の技術や知識をアドバイスしてくれる方
- 寄付口座やクラウドファンディングの技術や知識をアドバイスしてくれる方
- 社会貢献活動を応援したい方

第1回2回のWGでは、「今年度の助成事業をどうやって開催するか」について検討して頂きました。
 特に、次の4つについて集中的にアイデアを出して議論し、運営委員会に提案しています。

- 「発信」 団体、企業、高校生、パートナー事業、発表者以外の参加者の発信。
- 「寄付投票」 寄付投票は、共感を形にするもの。どうやってシュミレートするか。
- 「事前寄付」 事前寄付(募金箱)の集計は、タイムラインを決めておくべき。
- 「交流」 NPO関係の人が一堂に会するという、いつもの雰囲気はどう伝えるか



次回ワーキンググループは、12月初旬に、Zoomにて開催予定。
 「発信」と「交流」について、話し合います。
 参加希望される方は、みえきた市民活動センターまでご一報ください。
 きらきら基金は、あなたのアイデアを必要としています！！



♥市民活動応援☆きらきら基金は、「身近で小さな市民活動を応援する基金」

♥みんなでつくる「日本一小さなコミュニティファンド」です。

第4回三重NPOグランプリへの桑員地域からの提案決定！ みんなで応援してね！

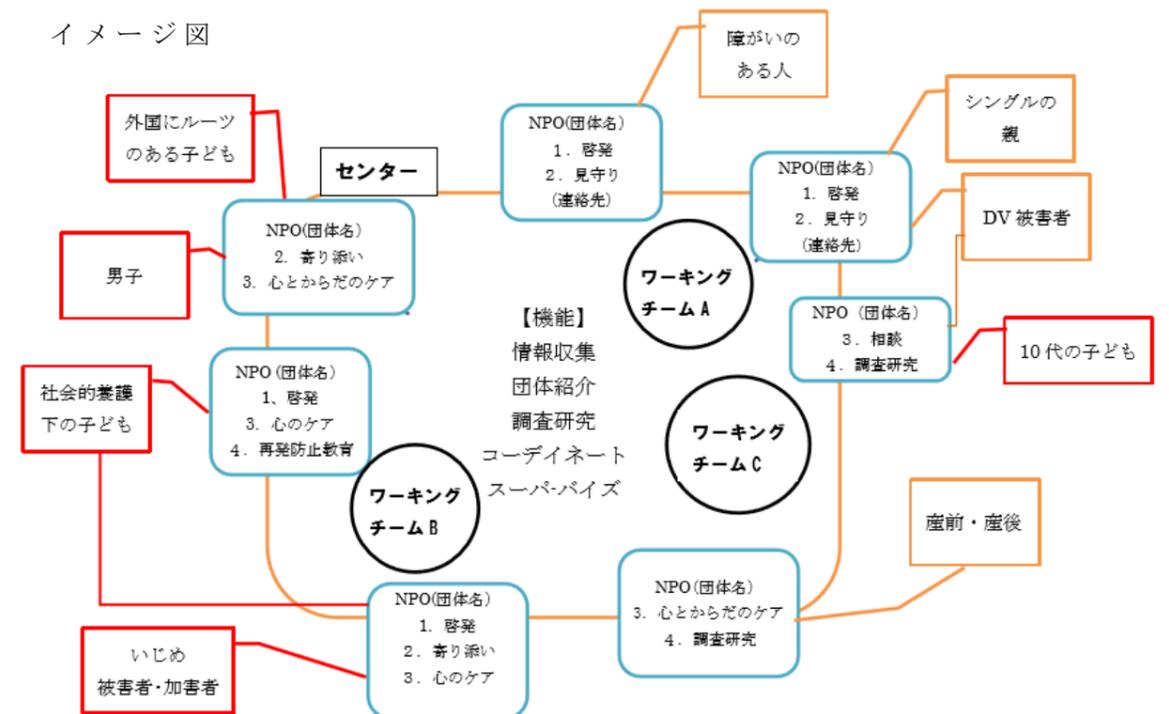
桑員子どもと女性の安心ネットワーク

コロナ禍という非常時にもっとも影響を受けるのは、子ども、女性、障がいのある人であることから、子どもの虐待、DV被害に対してNPOだからこそできることを、関連する10団体と2市1町の市民活動センターが参加し、4回のZoom会議で議論を重ねた。現状のニーズや各団体が取組んでいることを出し、この地域で重層的なサポートができる感触を得た。今後、NPOの特性を活かし、より対象者に近いところでの、敷居が低く使いやすい相談先を、行政区を超えて提供できる仕組みを創ることによって、子どもと女性の安心の輪を広げる包括的な支援を実現していく。

児童虐待・DVなどの子どもと女性の暴力防止の4つのステップ

- 『第1次防止』 発生予防 社会の認識、風潮を変える(神話と事実) 啓発・啓蒙活動 **予防**
- 『第2次防止』 早期発見 関心のアンテナ 見守り活動 声を拾う(アドボカシー) **介入**
- 『第3次防止』 早期解決 寄り添い 相談 関係機関への繋ぎ **治療**
- 『第4次防止』 再発防止 エンパワメント **教育 調査研究**

イメージ図



4つのステップ ①発生予防 ②早期発見 ③早期解決 ④再発防止のそれぞれに該当する活動団体を見えるようにし、その団体が連携し、包括的にサポートすることを目指す。

12月5日(土)開催の第4回三重NPOグランプリで、13:30~14:55に行われる5提案すべてのプレゼンを聞いた方が投票できます。

参加申込方法は、みえ市民活動ボランティアセンターのHPをご覧ください。





ねえねえ教えて！



今度のきらきら基金助成事業では寄付投票をしないって?!と~っても残念。ところで寄付投票って誰が考えたの？

運営委員会のみんなかな?最初の提案は、助成事業の参加費1000円いただいて、500円券2枚を渡すというものだったのを、100円券、500円券を寄付したい人が買うという形式に決定。100円券にしたのは、ハードルを低くして一つでも多くの団体への寄付が届くようにという思いもあったね。



そこで、寄付投票の結果で最初に準備した原資を按分するという形式になり、「1団体」への寄付額は一人上限500点までという制限もついたね。1000円以上寄付しても500点と。



そうそう、確か、誰が寄付金額を決めるの?参加したみんなで決めたらいいね、寄付投票分を上積みできるし。ということだったね。



へ~そうだったんだ。またみんなでワイワイガヤガヤと寄付投票ができる日が早く来るといいね。

「サンタの行進」参加者募集

まちのファンクラブ交流会の一環として、サンタのコスプレで市民活動団体やきらきら基金のアピールをしながら三八市で賑わう寺町商店街を歩きます。今年も、ガチャポン100円券サービスあり!

★日時 12月13日(日) 11:00~

★受付 10:30~南口横公園にて

★場所 桑名市寺町通り商店街

★参加費無料、申し込み不要

*マスク着用、除菌などの新型コロナ感染拡大防止対策にご協力ください。

問合せ先 (特非)みえきた市民活動センター ☎0594-27-2700



前号で配布先を募集した、桑名市市民活動センターと桑名商工会女性部の協力で収集した布マスク85枚は、社会福祉法人晴山会(いなべ障がい者活動支援センター)にてご活用いただいています。収集にご協力いただきました皆さま、どうもありがとうございました。

発行元 (特)みえきた市民活動センター

事務局 〒511-0088 桑名市南魚町86めがね工房ごうじ内

TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733

E-mail info@mie-kita.gr.jp

桑員 まちのかから版 第112号

2020年11月25日発行



今年度の市民活動応援☆きらきら基金 第13回助成事業は
2021年3月6日(土)、くわなメディアライヴ多目的ホールにて行います

●13:30~16:00と時間短縮し、定員は50人、オンライン(Zoom)参加あり

今年度第13回の助成事業はコロナの感染拡大防止のため、密にならないように、定員を収容人数の3分の1である50人とし、オンライン(Zoom)参加もできるようにします。

「団体助成」「パートナー助成」「高校生の社会貢献活動の報告」を行います。

「企業の社会貢献活動」は、映像・画像によるスポット紹介になります。

●助成を受けていただく団体を募集します 募集期間 12月1日~12月27日

★団体助成【1団体2万円 募集:9団体(新規登録団体7団体、登録済み団体2団体)】

今回は来場者の寄付投票はせず、一律2万円の助成となります。使い道は自由です。

また今年度から、新規登録団体に加えて、一度助成を受けた団体も応募できるようになります。

募集団体数を超えて応募があった場合は、公正なる審査により助成団体を決定します。

★パートナー事業助成【1事業につき3万円 募集:3団体】

これまでに「団体助成」を受けたことがある団体と、その団体がパートナーとして選んだ団体が、一緒になって行う事業に対して助成します。こちらも3分間のプレゼンをしていただきます。

パートナーとなる団体は、きらきら基金の団体取材を受けていない団体もOKです。

★お問い合わせ・ご連絡はお近くの「きらきら基金運営委員」までお願いします。

★昨年度までに助成を受けられた団体、及び報告がまだの団体は当日発表ではなく、事前にペーパーで提出いただいたものを、HPに掲載します。

